

担い手の育成・確保

要約

○新規就農者、認定農業者等への経営改善（3カ年分）

- ・認定農業者への経営体育成支援事業の活用を支援
- ・農業経営継承による就農支援
- ・新規就農者の経営安定に向けて青年就農給付金等の事業・就農施設等資金貸付金の活用
- ・経営改善に対する意識を高めるため、大和高原農業経営セミナーを開催

現状(背景)と課題

- ・(現状) 地域の農業の担い手の高齢化と減少が進行。
新規就農者が少ない。
- ・(課題) 認定農業者等の経営改善支援
新規就農者の確保

目標

- ・農業者が作成する経営に関する各種計画の支援数（経営改善計画、就農計画、資金利用計画、経営開塾計画など）
100名
就農3年目計画達成者 9名(対象11名)

活動内容

- ・計画作成のための個別相談会：計 107回開催（3カ年合計）
- ・人・農地プラン地区説明会 計 45回開催（II）
- ・経営継承コーディネート会議：計 10回開催（II）
- ・「大和高原農業経営セミナー」認定農業者等 258名参加

成果

農業者が作成する経営に関する各種計画の支援数（3カ年合計）

認定農業者経営改善計画数 更新：計58名、新規：計10名

新規就農者数：計17名(内 第三者継承1名)

新規就農者向け 就農計画認定数：計7名 就農3年目の経営目標達成者数：6名



新規就農者情報交換会にて先進農家を視察(H26)



新規就農者の建設中パイプハウス(H26)



「環境・資源・健康を考えた土づくり」渡辺氏の講演(H26)

農業普及課

担当：山本・木矢

地域農業担い手確保支援事業

新規就農者確保事業

普及活動のポイント

- 各種事業や制度資金の活用を通じた各種計画作成に認定農業者などのニーズにあった経営改善支援が行えたこと。
- 新規就農者への施設等の整備内容・資金計画の変更による就農計画の見直しを迅速に行ったこと。
- 「大和高原農業経営セミナー」において、平成 24 年度は、「株式会社 伊賀の里 モクモクファーム」代表取締役社長 木村修氏、平成 25 年度は、「オイシックス株式会社」阪下利久氏、平成 26 年度は元東京農業大学客員教授 渡辺和彦氏から講演をして頂いたこと。

- 認定農業者については、相談会等を通して将来の目標達成への課題について認識してもらえた。
- 新規就農者については、補助事業・資金の活用により経営安定につながった。
- セミナーではほとんどの参加者が良かったと評価し、今後の農業経営に役立てられると思われる。

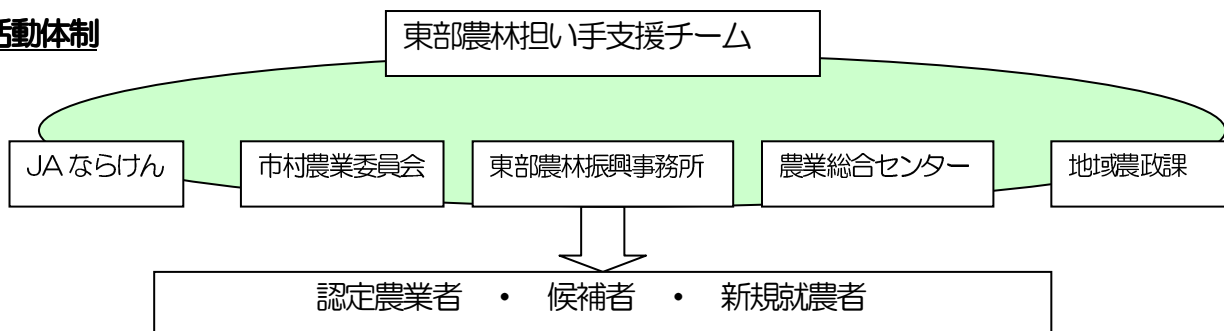
対象者からのコメント

- 就農計画や資金利用計画を作成する過程で、作付計画・収支計画・償還計画等のアドバイスをもらい、適切な事業や融資の活用ができた（新規就農者）。

これからの活動ビジョン

- 新規就農者は、就農後数年間の技術面を含めたバックアップ体制が必要なので、関係機関と連携して、就農計画達成に向けたフォローを継続する。

活動体制



用語解説

経営改善計画

農業者が農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画。

就農計画

これから就農しようとする方が、いつ、どこで、どのような農業を始めようとするのかの目標（就農 5 年目の自らの経営の目標）とその達成のために必要な研修や資金計画。